

INFORMATION

仏事のご案内

ご家族皆様で参加しましょう

3.11

東日本大震災三回忌追悼の鐘

大震災発生時の14時46分に追悼の鐘が鳴ります。梵鐘の音が聞こえたら、皆様手を合わせてお祈りしましょう。

3.20

春彼岸法要(心の法話)

午後1時から法話、2時から法要

4.8

花まつり

午前11時から
お釈迦様の生誕を
祝う「花まつり」が
行われます。



お知らせ

「大雄山最乗寺参拝」

10月1日・2日の1泊2日

大雄山と伊豆方面へのバス研修視察

萬福寺護持会では10月1日(火)・2日(水)の1泊2日で大雄山最乗寺参拝と伊豆稲取方面へのバス研修視察を企画しております。

檀家様、その他の方の参加も歓迎いたします。ご家族、お友達等お誘い合わせのうえご参加いただければ幸いです。定員は60～70名、参加費用は2万円程度を予定しております。

※参加ご希望の方は、まず萬福寺受付(寺務所)へ仮申し込みをしてください。

詳細が決まり次第、ご案内状を郵送させていただきます。正式なお申し込みはその後となります。

御葬儀・法要の連絡は 萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備を始めましょう。

御葬儀・法要のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 ☎03-3771-2025

※梶原殿の会場使用につきましては、他社の葬儀社も利用できます。



午 前11時から本尊阿弥陀如来三尊仏の沐浴式(御身拭い供養)が執り行われました。当日は、安本利正ご住職様が三尊仏(中央に大きな阿弥陀如来立像、正面右に少し小さい観音菩薩立像、左に勢至菩薩立像)の全身を拭い清められました(写真)。そして堂場を清めた後御開帳が行われ、御本尊様を間近で拝観でき、無病息災、家族の幸せを祈ることができました。なお、御開帳は12月14日と正月3日間行われました。

本尊阿弥陀如来三尊仏の 沐浴式・御開帳

平成24年12月14日(土)

萬福寺の御本尊様は
日本で2番目の大きさ

安本利正ご住職様のご説明では、萬福寺の御本尊様(阿弥陀如来立像)は高さ88cmもあり、大きさは、善光寺式金銅仏の中でも日本で2番目です。「三尺仏」とか「半身仏」とも呼ばれ、1200年代前半(鎌倉時代初期)の造像で、芸術性においても高い技量を感じさせる、由緒ある立派な立像です。(本誌第4号・09年冬号参照)

除夜の鐘つき

だいばんにやえ
正月大般若会御祈祷諷經

平成24年12月31日(月)～
平成25年1月3日(木)

12 月31日午後11時から年明けに向けて年末の法要、そして、東日本大震災等のさらなる復興とご家族皆様様の家内安全、そして新年の開運を祈って厳かに正月大般若会御祈祷諷經の法要が行われました。安本利正ご住職様をはじめ僧侶の方々による「大般若波羅密多心經」(全600巻)の「転読」が行われ、太鼓の音とともに読誦する声が境内に響き渡ると、身が引き締まる思いがしました。その後、恒例の「除夜の鐘つき」が行われましたが、当日は寒さも和らぎ星を仰ぎながら、約480名の参詣者は一人ずつ鐘楼門の階段を上がり、お子様を含めた全員が鐘をつくことができました。新しい年の無病息災を祈ってつく鐘には力も入り、梵鐘の音は馬込のまちに大きく響きわたりました。良いことがありそうな新年を迎えることができました。(合掌)

なお、正月大般若会御祈祷諷經は正月三が日にも行われました。



転読(安本利正ご住職)

編集後記

春3月、花のたよりが楽しみなころとなりました。萬福寺境内でもそろそろ梅から桜へのバトンタッチが行われることでしょう。

広報委員一同、毎号の編集会議では雑談に花を咲かせながら、ご住職様のお力をお借りして、「萬福寺だより」の発行に努めております。今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

萬福寺護持会では今年も研修委員会を中心に、一泊研修旅行など楽しい行事が企画されています。皆様のご参加をお待ち申し上げます。また、東日本大震災の3月11日もめぐって来ました。今年はあの災害で亡くなられた方々の三回忌となります。春のお彼岸、ご先祖様のお参りと併せて、あらためて被災された方々に思いを致したいと存じます。